

第1回（10月）「雲南省へきて感じたこと」

石井夏月

はじめまして！私は現在、2024年度雲南省派遣研修員として雲南大学という大学へ研修に来ています。中国と日本は国の場所で見ると近いですが、生活習慣や風習・祝日などは日本とは異なる部分が多いです。この1年間の研修を通して、そんな日本とは異なる習慣や、中国での生活の様子、雲南省はどういうところなのかを研修員だよりを通じてたくさんの方に共有していきたいと思っています。よろしくお祈りします！

自己紹介

名前:石井夏月

年齢:20歳

中国語学習歴:1年間

大学では主に英語と経営経済について学んでいます。
中国語は、大学に入ってから本格的に学び始めました！

抱負

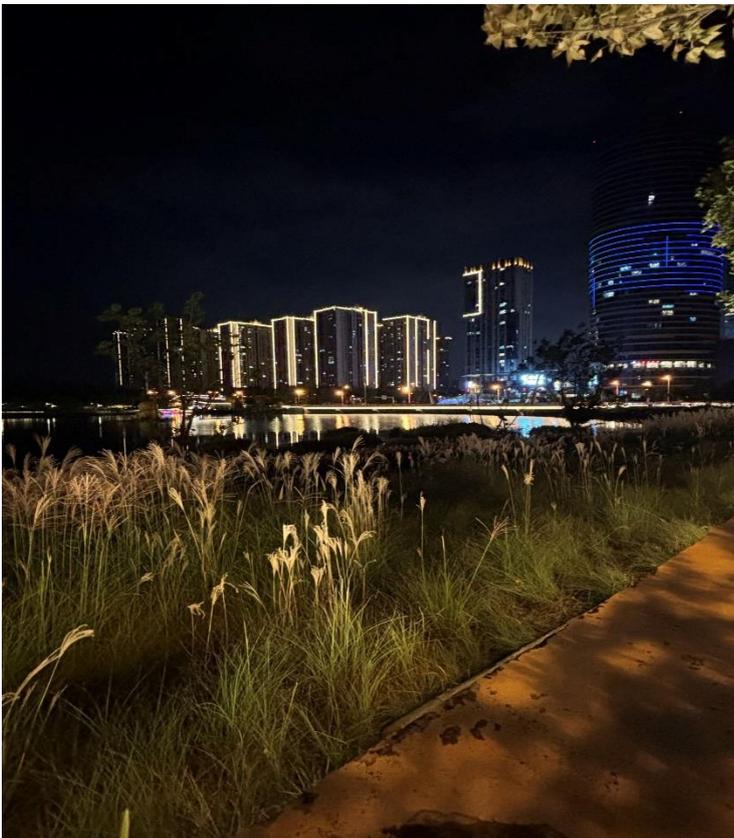
今回の研修で
中国語の語学力をより高め
中国の文化に対する理解をを深めたいです。



雲南省には少数民族が多く住んでいます。
雲南民族村がいくつもあり、なかではいろいろな民族の伝統的な暮らしや、建物、きている服、食事、独自の文字など他では見ることのできない様々なことを楽しむことができます。伝統舞踊ショーを見ることもでき、雲南省を感じるのにふさわしい場所の一つです！

昆明市は朝昼晩、大勢の人でにぎわっています。

大学の東西南北どの門から出ても飲食店がずらりと並んでおり、雲南大学の学生に関わらず子供から大人まで多くの人買い物をしています。値段も安く、様々な種類の飲食店があるため毎日飽きることなく美味しい食事ができます！



中国の街中は高層ビルがたくさんあります。どこを見ても10階以上はあるのではと感じるほど高い建物であふれていて毎日新鮮な気持ちで外を歩いています！ですが、歩道には等間隔で気が植えられていたり、大学構内もたくさんの木々に囲まれていたり、身近で自然を感じることもできてとても過ごしやすい街です。